

動物園だより

(題字 京都市長 門川大作)

No.147

平成21年1月1日発行

賀正



2009年

丑年



『ホンホン』

あけましておめでとうございます。私はゴーラルのホンホン(4歳)女子です。どうして私が新年の挨拶をするかって?実はゴーラルはれっきとしたウシ科の仲間なんです!その証拠に胃はウシと同じで4つもあるし、角は毎年落ちるシカさんと違って、ずっと伸びるんですよ。ちなみにヤギさんやヒツジさん、カモシカさんも同じ仲間なんです。ゴーラルはもともと中国からヒマラヤ、チベットの山岳地帯の険しい岩場で数頭の群れで住んでいます。という私は三重県にあった日本カモシカセンターで平成16年に生まれたので、そんな外国はまったく知らないんですけどね。その生まれ故郷が平成19年に無くなっちゃうということで昨年の3月、京都にやってきたというわけ。今では私たちが見られるのは、ここだけになっちゃいました。。。初めて今のお家に入ったときはあわてて滝の上からドボンって落ちちゃったけどへっちゃら。だってドキドキしてそれどころじゃなかったんだもん。その上、先住者のラル婆さん(21歳)には脅されるしさんざんだったわ。でも後から判ったんだけどラル婆さんも同じカモシカセンター生まれなんだって。というわけで今ではとても仲良しよ。そうそう、私たちの見分け方は、角が後ろに向かってまっすぐ伸びている方が私で、1本曲がっちゃってる方がラル婆さんよ。間違えないでね!それと私の得意なポーズは"イナバウアー"よ!時々気分がいい時(?)にフェンスや壁を使って後ろ向きにのけ反るのよ。一時、フィギュアスケートの世界では騒がれてたけど、私のイナバウアーの方がキレイだし、めったに見られないで見れた人はラッキーね。

ということで、今年も京都市動物園と私たちの仲間をよろしくね!

できごと



新しい仲間

☆井の頭自然文化園からフェネックのメスがやって来ました。名前は「ユミ」です。1日も早く京都の環境に馴れてほしいものです。

安らかに

★平成20年11月24日ニシゴリラのヒロミ(メス・推定35歳)が慢性腎不全による尿毒症で死亡しました。10月末に体調を崩し治療してきましたが、快復への願いは届きませんでした。長い間、可愛がっていただきありがとうございました。



寄付のお知らせ



ありがとうございました

京都岡崎白川ライオンズクラブ様に、キリン塔の塗装改修をしていただきました。市側二郎様。(故)紀子様から、ゾウのために寄付金をいただきました。

とうぶつのあ面 ～発売中～

(通常価格 500円)

動物たちの立体的な顔が作れる、当園オリジナル『とうぶつのあ面』を好評発売中! のりやはさみを使わなくても、その場で簡単に組み立てられます。

飼育員さんが、本物そっくりに
デザインしてくれました。
できあがったら見比べてみてね!

今なら
なんと!!

390円



かわいい動物たち

スタート

ホンドギツネに化がされて
びっくり!?
2つ戻る…

図書館でたくさん本を
読んで成績アップ!
そのままゴール!

ブラジルバウが
悪い事を食べて
くれてラッキー!
3つ進む!

ヤブイヌに
逆立ちしてオシッコをかけられた~
1回休み!

ほんやりしているラマを見ていたら
サイコロの数を忘れた!
もう1回サイコロを振る!

キリンに2頭目の
赤ちゃんあめでた!
ラマまで
ひとつ飛び

おとぎの国で
のんびりやぎと
日向ぼっこ…
1回休み!

動物園のヒグマは
冬眠しなくても
元気なので
フクロウまで進む!

フラミンゴの数を数えていたら
何羽いるのがわからなくなったり?
もう1回サイコロを振り
サイコロの数が
奇数だと
偶数だと

2008年は国際カエル年
みんなの応援に感謝!!
2つ進む!

マンドリルは
お勉強を頑張って
いるので
2つ前に進む!

長いゾウの鼻のあかげで
フラミンゴまで
ひひっ飛び~!

足の速いタチヨウに
負けゴリラまでもどる…

シロフクロウに出会えて
いいことが起こりそう!
もう1回サイコロを振る!

疏水記念館出口から
出てしまった!
スタートに
戻る…

ZOOスポット 63



今回は、動物園勤務3年目の獣医師・山本裕己さんにスポットをあててみました。

動物園の獣医はとても難しい仕事だと実感しています。動物園には哺乳類から両生類まで多岐にわたる動物があり、身体の仕組みも生態も違うそれぞれの動物に応じた幅広い知識が求められます。しかし、動物園の動物たちはペットや家畜と比べると研究途上で情報が不足していることも多く、また、本来野生の動物である彼らは身体の不調を素直に人間に見せてくれないことが多いのです。特に悩ましいのが爬虫類です。体調の異常を見極めることができ難しく、明らかな異常を確認したときにはすでに病気が進行していく手遅れ…ということもあります。私にとって初めての大物(?)患者であったクチヒロカイマン(ワニ)は、結果的には気付くのが遅かったため死なせてしまいました。助けることができなかつた多くの動物のことを思うと動物園獣医師としての無力さを感じることもありますが、1頭でも多くの動物を助けるために、日々勉強し経験を積み重ねていきたいと思っています。

京都市動物園では、ほぼ毎週土日と祝日に催し物が行われてい

ます。この催し物の準備も私の仕事の一つです。動物園に来た当初は、こんなことも獣医の仕事なの?と疑問に思ったこともありました。今は、催し物を通じてお客様に動物たちのことを学んでもらうことも教育普及活動の一部として動物園の重要な役割の一つであると理解できるようになってきました。また、教育普及活動を通じて私自身も学んでいます。

お客様に元気な動物たちを見ていただけるように、動物たちの魅力を伝えられるようにますます努力していきたいと思います。

今年も京都市動物園をよろしくお願いします。



動物愛護に関する標語コンクール ～優秀作品～

平成20年度京都市動物園動物愛護に関する標語コンクールで優秀賞として以下の5作品を選定し、表彰状を贈呈しました。



小学生動物画コンクール ～表彰式～

小学生による応募作品714点の中から、市長賞・教育長賞・動物園長賞を各6作品、入選18作品を選定し、表彰式を行いました。

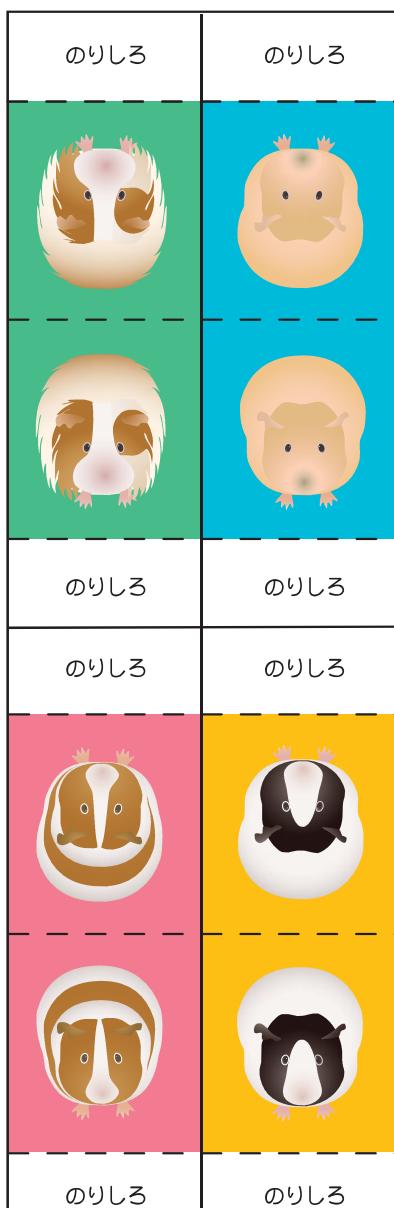


定期購読を希望される方は、80円切手4枚（1年分）を同封して京都市動物園までお申し込み下さい。

動物園だより No.147
発行所 京都市動物園
京都市左京区岡崎法勝寺町岡崎公園内 Tel.075(771)0210

文化市民局動物園 京都市印刷物 第204467号

コマ



サイコロ

のりしろ
 1
  2
   3
    4
     5
      6

